

車載用ダイヤトーン

形名

DS-G400

(17cm SEPARATE 2WAY SPEAKER)

取付要領書

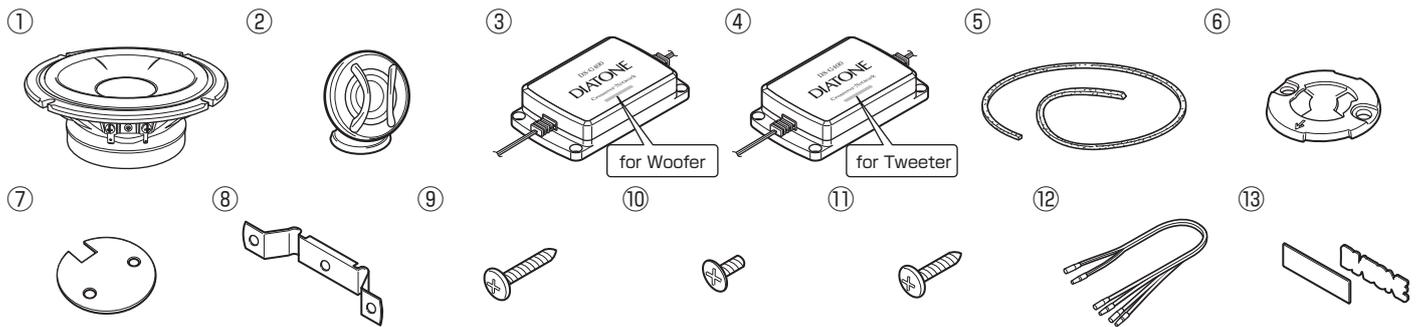
作業者さまへ

取り付け作業前に
必ずお読みください。

本書には、当社が蓄積してきた取り付けのノウハウが記載されています。性能を最大限引き出すために、必ず取り付け作業前に本書をよくお読みの上、正しい取り付けを行ってください。ダイヤトーンスピーカーは取り付け次第で音質が大きく変化します。本製品使用前に必ず取扱説明書及び取付要領書に記載の「注意とお願い」をよくお読みの上、正しくお使いください。作業完了後は取付要領書及び取扱説明書をお客様へお渡しの上、大切に保管いただくようご説明ください。

同梱品

開梱時には、下記の同梱品がそろっていることを確認してください。



番号	名称	数量	備考
①	ウーファー	2	—
②	トゥイーター	2	—
③	クロスオーバーネットワーク(ウーファー用)	2	①ウーファー用
④	クロスオーバーネットワーク(トゥイーター用)	2	②トゥイーター用
⑤	クッションテープ	2	①ウーファー用
⑥	トゥイーター取付ブラケット	2	②トゥイーター用
⑦	両面テープ	2	②トゥイーター用
⑧	トゥイーター固定ブラケット	2	②トゥイーター用
⑨	タッピングネジ(φ4×20)	8	①ウーファー用
⑩	タッピングネジ(φ3×8)	4	②トゥイーター用
⑪	タッピングネジ(φ4×16)	16	③④クロスオーバーネットワーク用
⑫	分岐ケーブル	2	アンプ 2ch 接続用
⑬	DIATONE エンブレム(2種)	各2	お好きな場所に貼り付けてください

これら以外に「保証書」、「取扱説明書」、「取付要領書(本書)」が入っています。

注意

・NCV 振動板は強い突き刺しで割れやすい傾向がありますのでご注意ください。

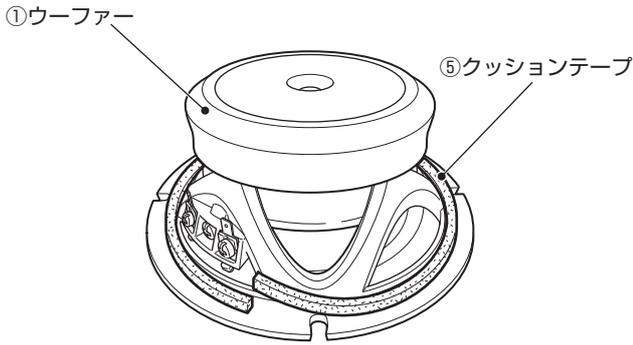


NAN890P30710 21-01(A4)

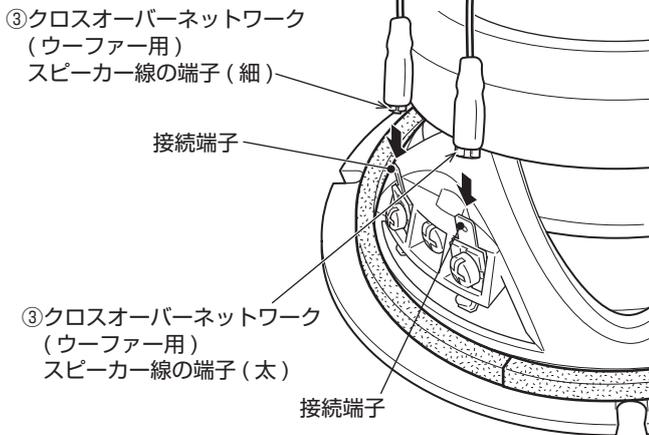
ウーファースの取り付け

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

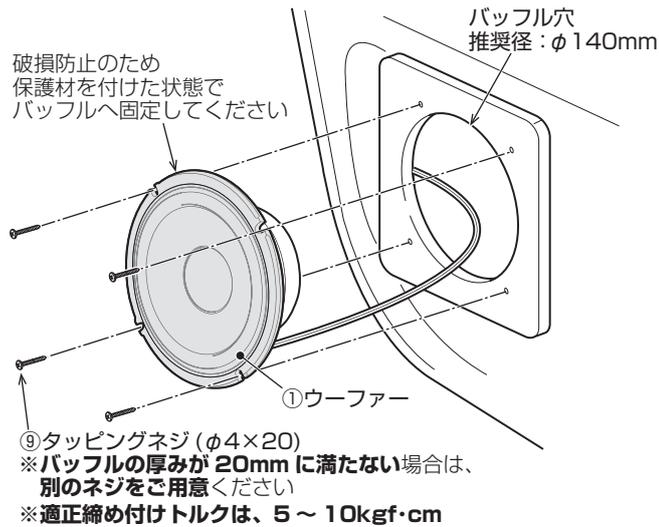
1 はくり紙をはがして、①ウーファーに⑤クッションテープを貼り付ける



2 接続端子にスピーカー線をしっかり接続する



3 ⑨タッピングネジ (φ4×20) を使って、ドア内のスピーカースペースに取り付ける



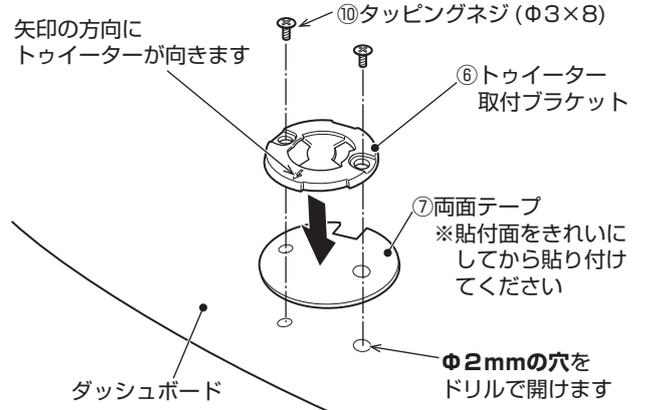
注意

- ・ 適正以上のトルクで締め付けしないでください。フレームにヒビ割れが発生する場合があります。

ツイーターの取り付け < スタンドあり >

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

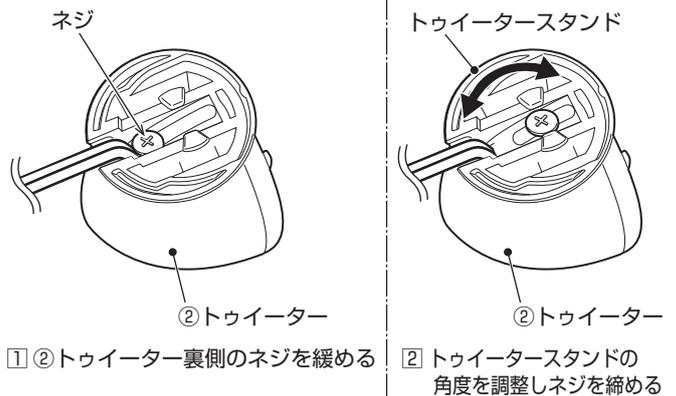
1 ダッシュボードに⑦両面テープを貼り付け、⑥ツイーター取付ブラケットを⑩タッピングネジ (φ3×8) を使ってダッシュボードに取り付ける



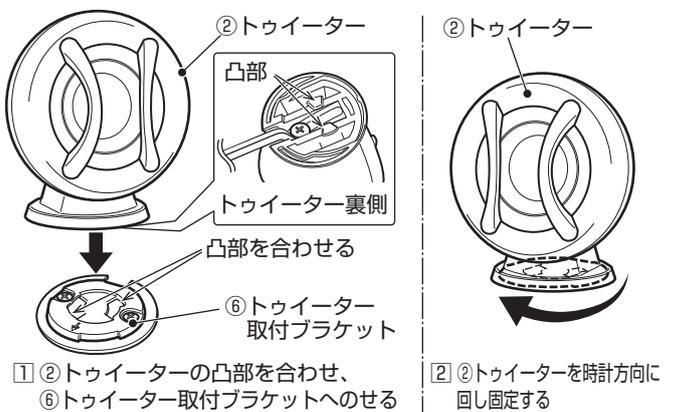
注意

- ・ 必ず貼付面の油分・水分・ゴミ・ほこり等をきれいに取り除いてから貼り付けてください。取り除かずに貼り付けるとツイーターが脱落する原因となります。

2 ②ツイーターの角度を調整する



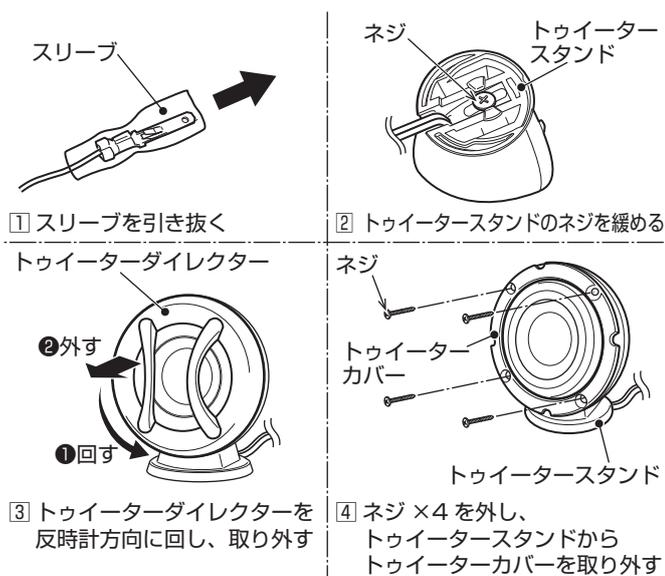
3 ②ツイーターを⑥ツイーター取付ブラケットに固定する



トワイターの取り付け<スタンドなし>

作業は柔らかい布やクッションの上で行ってください。(製品の傷防止のため)

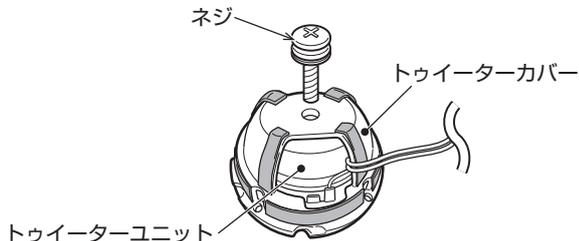
1 ②トワイターを分解する



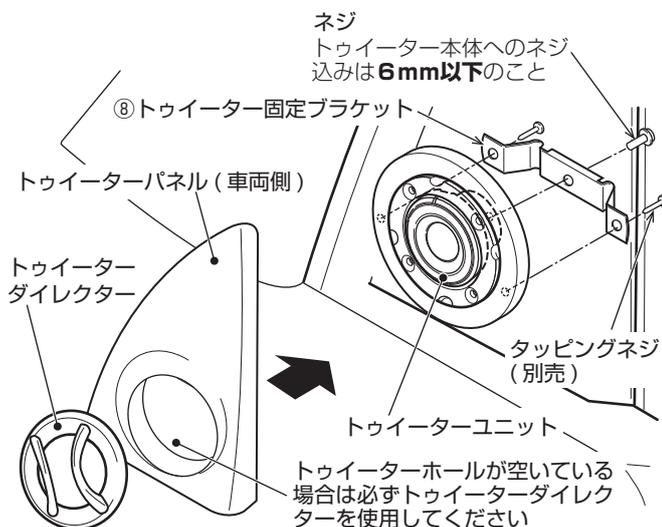
注意

- ・NCV 振動板にドライバーを突き刺さないよう慎重にネジを緩めてください。また、破損させないように慎重に分解作業を行ってください。
- ・取り外したネジが磁力により振動板に付く恐れがあります。割れや傷付きに注意してください。

2 トワイターカバーからネジを取り外す



3 トワイタースペースなどに取り付ける (下図は取り付け例)



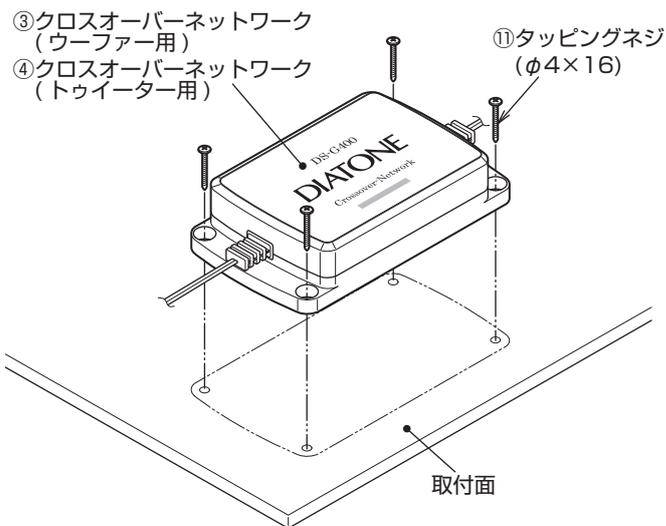
必ず実施のこと

- ・⑧トワイター固定ブラケットを固定するタッピングネジは別途ご準備ください。

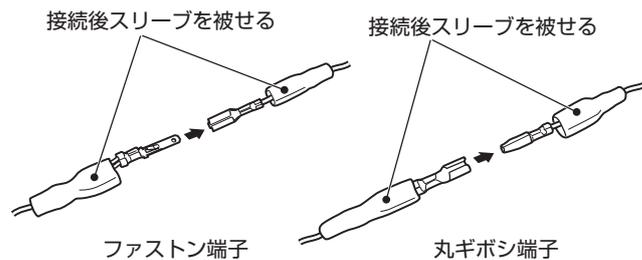
クロスオーバーネットワークの取り付け

接続方法は「クロスオーバーネットワークの接続例」を参照してください。

1 ⑪タッピングネジ(φ4×16)を使ってボードに取り付ける

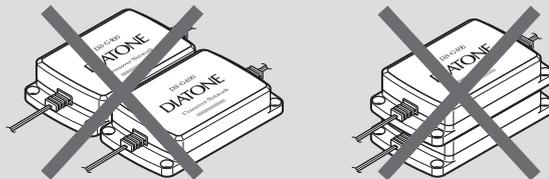


2 ③④クロスオーバーネットワークのファストン端子と丸ギボシ端子を接続する



取り付けのアドバイス

- ・ファストン端子、丸ギボシ端子はしっかりと接続してください。雑音混入の原因となります。
- ・トワイターは、取り付け位置によって逆相に接続した方がよい場合があります。お好みに合わせて、正相または逆相に接続してください。
- ・クロスオーバーネットワークの外形寸法は別紙の取扱説明書をご参照ください。
- ・クロスオーバーネットワーク(ウーファー用/トワイター用)は隣り合せた状態や重ねた状態で設置しないでください。「音の濁り」、「S/N感」、「奥行き感」の劣化につながります。できるだけ離れた位置に設置してください。また、ネジでしっかりと固定し両面テープなどで固定しないでください。



クロスオーバーネットワークの接続例

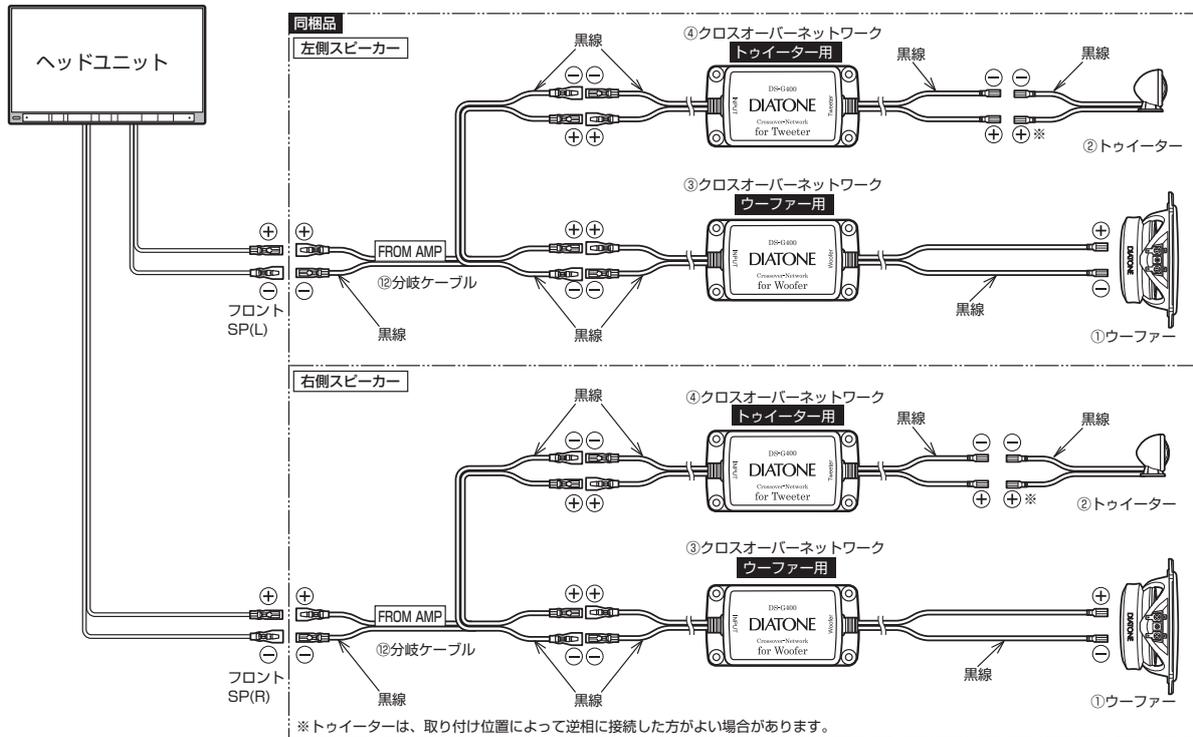
クロスオーバーネットワークについての注意とお願い

- ・クロスオーバーネットワークは必ず使用してください。また付属品以外のものは使用しないでください。スピーカーが破損する恐れがあります。
- ・クロスオーバーネットワークにはウーファー用とツイーター用がありますので、必ず取付要領書でご確認の上、間違えないように正しく接続してください。スピーカーの破損や音が鳴らない恐れがあります。
- ・ウーファーまたはツイーターをクロスオーバーネットワークに接続していない状態で信号を入力しないでください。クロスオーバーネットワークの発熱や破損の恐れがあります。

■内蔵アンプ 2ch 接続例

< 音の特長 >

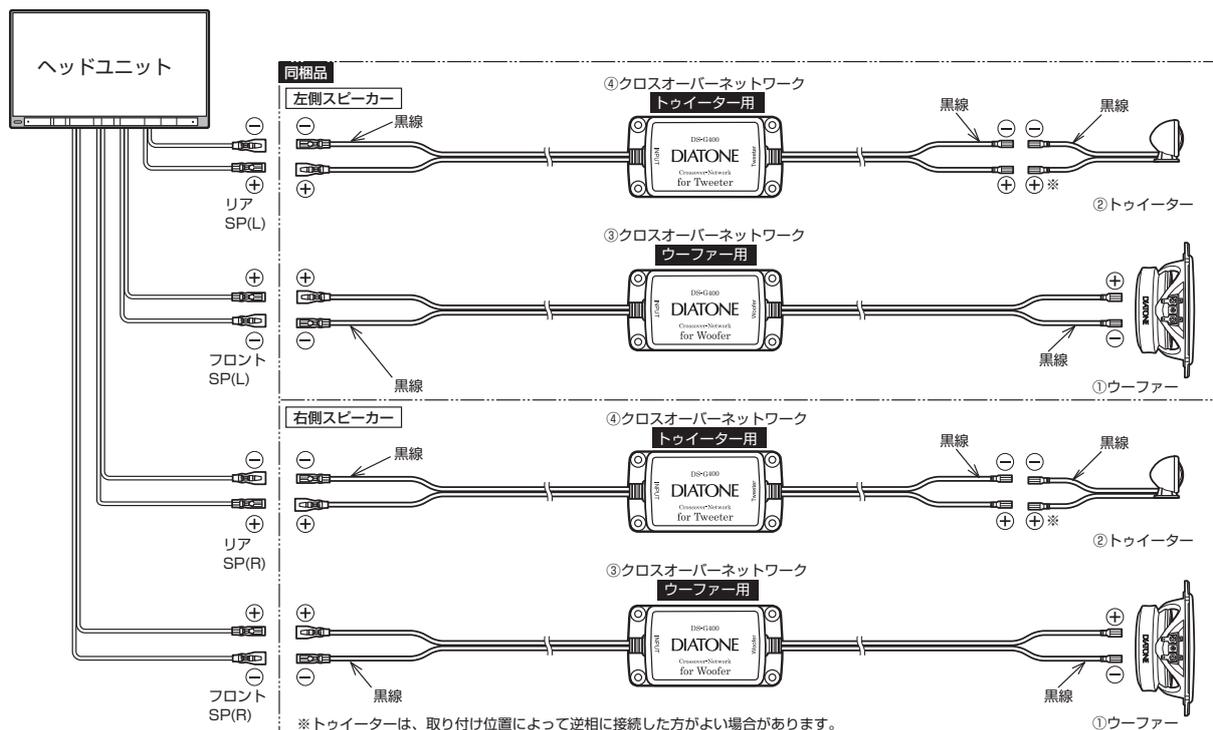
ウーファーとツイーターのバランスがもっとも良い音になります。



■内蔵アンプ 4ch 接続例

< 音の特長 >

バイアンプ接続による、よりエネルギッシュで情報量の多い音になります。



「安全上のご注意とお願い」

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。
交通事故やけがの原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。
これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。
発煙、発火、感電、故障の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。
誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス(⊖)端子を外す。
ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起これば、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店か弊社代理店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造したりしない。
故障、火災、感電の原因となります。

注意



禁止

- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。
機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。
外れて運転の妨げとなり交通事故やけがの原因となることがあります。

注意



禁止

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。
本機に水や湿気、ほこり、油煙が混入しますと火災の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に<本機>の取り付けと配線をしない。
エアバッグの動作を妨げる場所に取り付け・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。



注意

- 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。
金属部に接触し、コードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。



必ず行う

- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷する場合や、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- 本システムの取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。
エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。